

大船渡だより

地域のイベントや活動紹介

大船渡ベースの活動紹介

走れ、三鉄！！

自然豊かな風景によく似合う、誠実を表す『アイボリー』に、三陸の海の『青』、鉄道に対する情熱の『赤』のラインの三陸鉄道は、昭和59年4月、国鉄の地方路線から転換した日本初の第3セクターとして開業しました。平成23年、三鉄は東日本大震災の大津波により甚大な被害を受けましたが、平成26年4月から旧南北リアス線で全線の運行が再開されていました。



昨年3月にはJR東日本から山田線（宮古～久慈）を移管され、従来の南リアス線（盛～釜石）と北リアス線（宮古～久慈）が繋がり、『リアス線』として新たに歴史を刻み始めました。

しかし、それから約半年後の10月に発生した台風19号の接近に伴う大雨の影響で、線路の路盤流失や土砂流入、信号設備浸水などの被害により、全線の7割が不通となってしまいました。そして今年3月20日、最後の不通区間となっていた釜石～陸中山田が復旧、改良工事を終え、5ヶ月振りに、ついにリアス線全線（盛～久慈）163kmが繋がりました。大雨や暴風などの天災に負けずに、走れ、三鉄！

最近のベースの活動

新型コロナウイルス感染防止の為、活動を縮小してから早2ヶ月が経過します。

現在は地域の方への訪問を極力控え、電話をかけた後、励ましのお葉書を出しています。中には、「週1回カリタスへ行行って元気をもらって、その週を頑張ってるけど、それが出来なくなり、こんなにもカリタスを頼りにしていたと分かった。」とおっしゃる方もいます。

地域の皆さんがまたこのホールに集う日を思い、女性スタッフで浴衣をほどいて椅子カバーを作りました。皆さんの反応が楽しみです。

また、町の様子取材を、スタッフが2人1組になって行なっています。ブログやfacebookで大船渡の様子を伝え、懐かしさで閲覧くださっている方もおられます。

残念ながら、今回は大船渡教会でイースターのミサを行うことはできませんでしたが、お祝いしようとして、スタッフでイースターエッグを作りました。茹でて色付けをした後、ビーズやリボンで装飾をすると…真っ白だった卵が、カラフルで個性豊かな卵に変身しました。



イースター当日は、教会で聖体拝領のみ行われ、その際に教会へいらした方々へイースターエッグをプレゼントしました。大変喜んでいただけました。

1日も早くこの事態の収束を願うとともに、どのような寄り添いができるか思案しています。



『奇跡の一本松ホール』開館



震災前の市民会館と中央公民館の機能を併せ持つ複合施設として整備が進められていた、陸前高田市民文化会館『奇跡の一本松ホール』が4月11日に開館しました。同日、新型コロナウイルス感染防止の為に規模縮小が求められる中、施設の中庭で開催された記念式典には、関係者約30人が出席されました。

この施設は、商業施設『アバッセたかた』のそばにあり、旧市民文化会館部分は鉄筋コンクリート造り3階建て、

旧中央公民館部分は木造平屋建てとなっています。そして、誰もが住みよい街を目指し、市が推進する『ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり』にも結びつけ、年齢や生涯の有無を問わずに利用できるようなユニバーサルデザインを採用しています。

『奇跡の一本松ホール』というネーミング（愛称）は、市が公募した865点の中から、広田小学校の児童が考案したものに決まり、記念式典において表彰式が行なわれました。

なお、12日には完成内覧会（一般公開）が行なわれ、13日から館内施設の利用が開始予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止の為に、現在は閉館しています。

東京五輪の聖火が 展示されました

東京オリンピックは今年7月に開催される予定でした。東京五輪の聖火を東日本大震災の被災地で灯す『復興の火』の展示が、3月23日に大船渡市で行なわれました。



聖火はギリシャの首都アテネから、20日に飛行機で宮城県の航空自衛隊松島基地に到着。22日に三陸鉄道とJR東日本のSL銀河によって、岩手県内各地を巡回。23日には、市内大船渡町の復興の進む中心商店街に隣接する『防災観光交流センター』（おおふなぼーと）で展示され、市内外から大勢の人が集まりました。



また、会場では同日、東京オリンピック開催への祝意を、気仙地方で継承されてきた昔ながらの『上棟式』で表そうという催しも開かれました。気仙大工の技術が光る和風切妻屋根、船柁（せがい）造りの上棟式を模した建物の骨組みが、気仙産のスギやアカマツを使って建設され、高さ約7m、幅約11mの建物が来場者の注目を集めていました。来年に延期された『東京オリンピック・パラリンピック』が無事開催されることを願っています。

2020年4月1日～30日の活動紹介

新型コロナウイルス感染予防対策として、3月から活動を見直しています。なお、個人依頼は依頼ごとに検討し対応しています。

◆4月初め
買物送迎・ベースでのイベント・サロン・公営住宅でのサロンを全て中止しました。在宅訪問先の方、サロンへの参加者さんには電話での状況確認と、スタッフがパスアートで制作した絵葉書を発送しました。『町の様子』の取材を開始しました。ブログ・facebookで紹介しています。

◆4月18日～
緊急事態宣言発令を受け、スタッフは在宅ワークにしました。週に1度ミーティングを行ない、情報を共有しています。



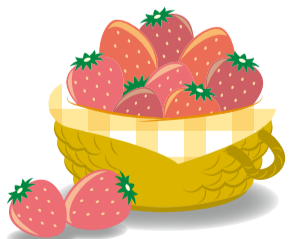
大船渡市の元中心地の様子 (2020/5/11 撮影)



ボランティア登録者数

男性 678人
女性 1391人
⇒ 合計 2069人

◆4月1日～4月30日
ボランティア数
男性: 0名
女性: 0名



<ベースからのお知らせ>

新型コロナウイルス感染予防の為に、当分の間、ボランティアさんの受け入れ、サロン・イベントを全て中止とさせていただきます。なお、カリタス南三陸と共催の『東日本大震災応援ツアー2020』も今年度は中止とさせていただきます。